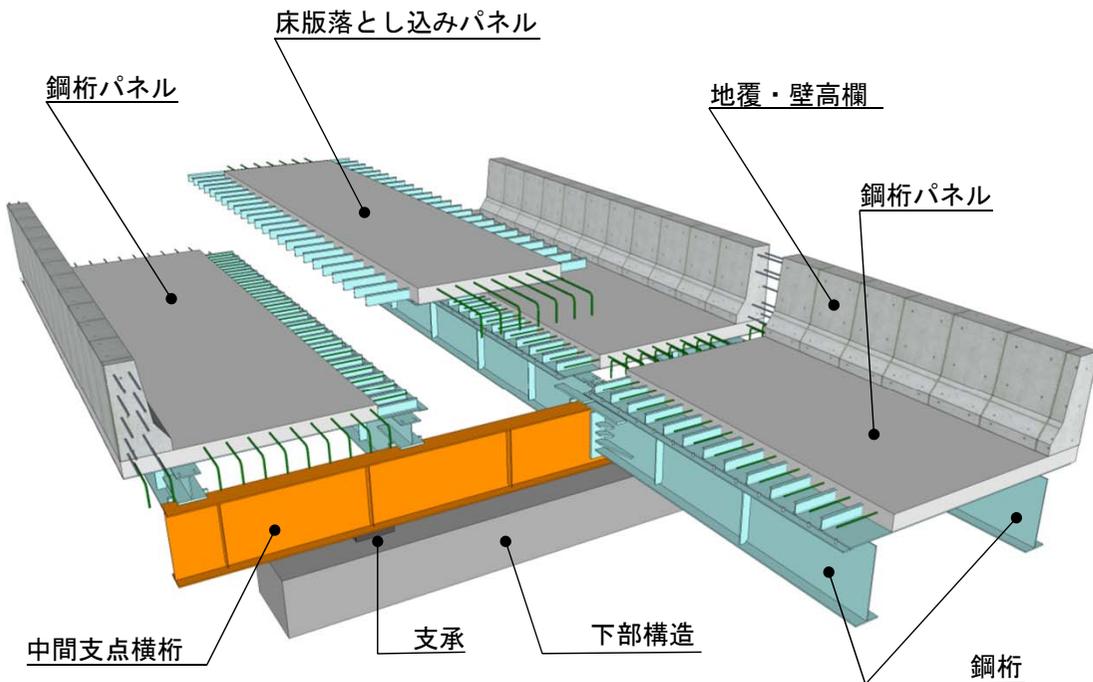
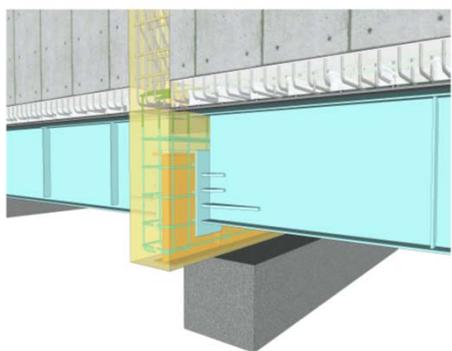


NYラピッドブリッジ®

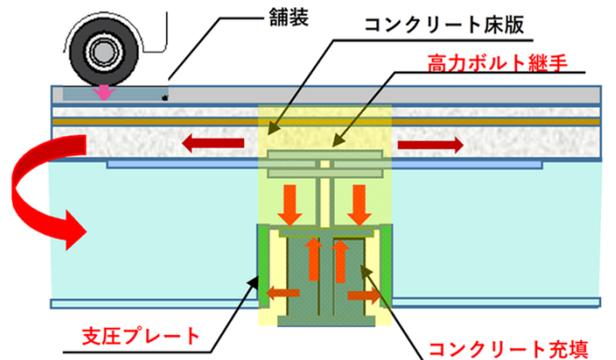
短期間で架け替えが可能な新形式のプレキャスト合成床版桁



中間支点部（現場連結構造）例



巻き立てコン



鋼桁と支承の間に支点横桁を設置するため、主桁配置を任意に設定可能。

急速施工

鋼桁+床版コンクリートが一体構造となった製品ブロックを架設して組み立てる合成床版桁のため、急速施工が可能。

中間支点構造

中間支点横桁を介して主桁連結するため、桁配置の制約が少なく施工誤差の吸収が可能

分割施工

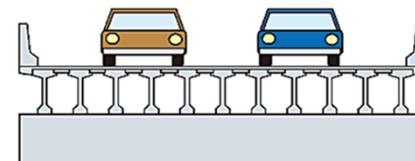
2主桁部材や落とし込み床版の製品ブロックの組み合わせで構成され、分割施工にも適す

軽量化

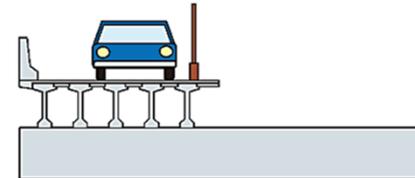
コンクリート桁の架け替えでは、死荷重を低減でき橋脚補強も低減できる

分割施工順序

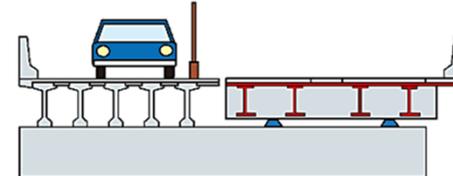
① 旧橋断面



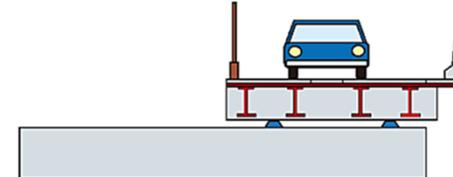
② 旧橋片側撤去



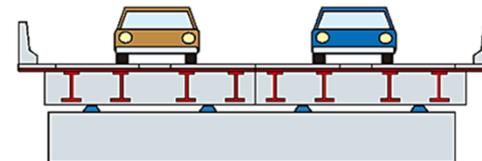
③ ラピッドブリッジ施工



④ 旧橋撤去完了

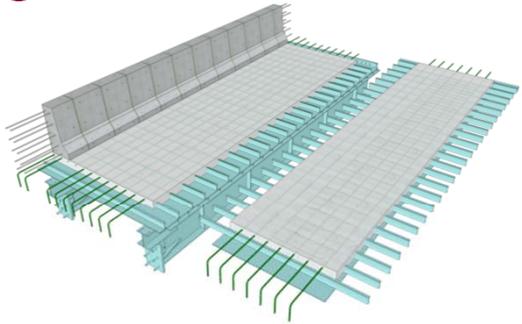


⑤ ラピッドブリッジ完成



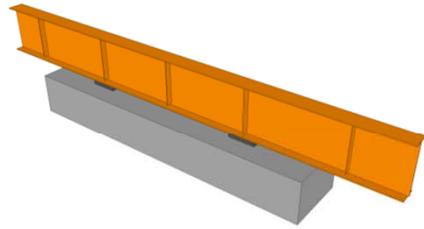
施工手順

①



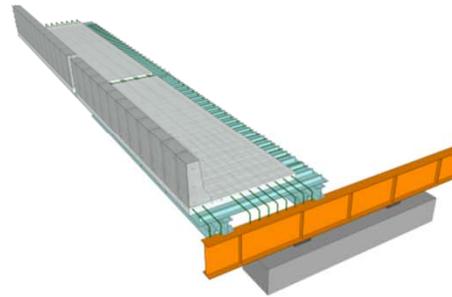
工場にて、鋼桁パネル、落とし込みパネル、中間支点上横桁を製作。コンクリート工場にてコンクリート打設。

②



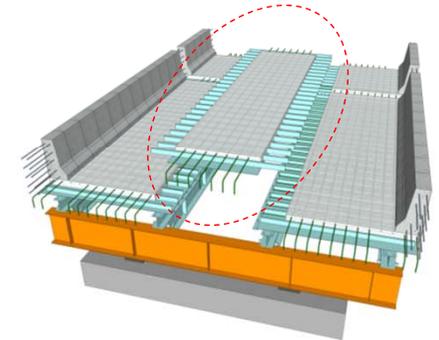
現場にて既設の桁・支承を撤去。支承を据付け、中間支点上横桁を設置。

③



中間支点横桁上に鋼桁パネルを架設。

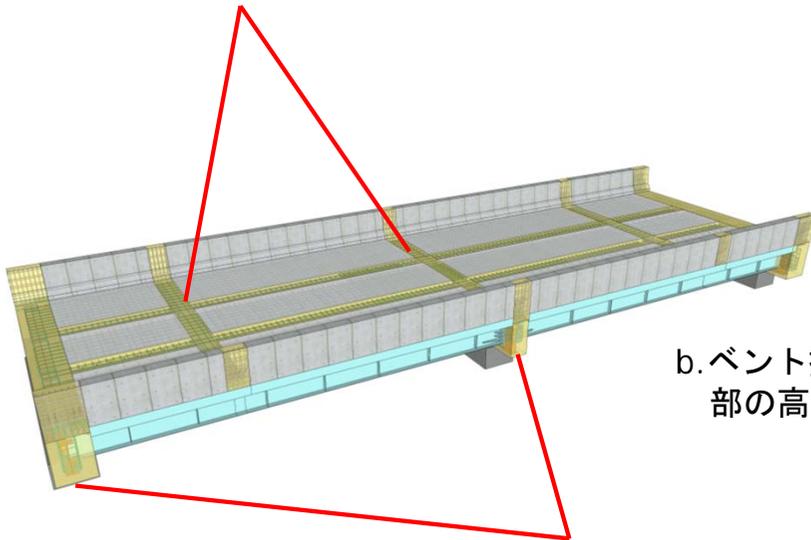
④



落とし込みパネルを架設。

⑤

a. 断面方向、橋軸方向の間詰コンを打設。



b. ベント撤去後に、中間支点部の高力ボルトを接合。

c. 巻立てコンクリートの打設。

製品ブロック地組み施工状況（間詰めコン打設前）



※本製品は、日鉄エンジニアリング(株)との共同開発です。



株式会社 横河NSエンジニアリング